

一般質問通告書

通告順番 7 番

通告者 清原 さおり 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1 各校区内防災計画について	梅雨明けの 8 月、夏真っ盛りの時期に線状降水帯が発生し、県内では甚大な豪雨災害が起こった。ほぼ毎年のように風水害が発生している現状を踏まえると、真夏や真冬に平成 28 年熊本地震規模の避難者が出た場合、避難所環境の維持は極めて重要である。町としてどのように対応を考えているのか、特に指定避難所となっている学校施設ごとの校区防災計画について問う。 （1）令和 7 年度地域防災計画に「学校を避難所として指定する場合には、学校は教育活動の場であることを配慮するものとする。なお、避難所としての機能は応急的なものであることを認識の上、避難所となる施設の利用方法等について、事前に教育委員会等の関係部局や地域住民等の関係者と調整を図るものとする。」とある。 この記述に基づき、関係部局や地域住民等を交えた校区内防災計画の策定はどの程度進んでいるのか。 （2）7 月 20 日執行の第 27 回参議院議員通常選挙において、第 9 投票区である美咲野小学校体育館では、熱中症対策のため投票所を校舎内教室に変更した。投票立会人など長時間従事する人からは「大変助かった」との声を聞いている。 この事例を踏まえ、避難所運営計画に教室利用を位置づける考えはあるのか。	町 長 教 育 長
2 町公式 SNS の情報発信拡充と利活用促進について	大津町では、公式 SNS が運用され、町民から高い支持を得ている。実際、議会日より Web アンケートのお願いを LINE 配信したところ、多くの回答が寄せられ SNS が住民との重要な接点であることを実感した。 しかし現状、町内各地区など、小規模のイベントや祭り等の情報は SNS で発信されていない。町内各所で行われる行事や団体活動の情報も積極的に発信すれば、地域活性化や参加促進に繋がると考える。 他自治体では、先ほど挙げた祭りの情報や観光案内、移住定住 PR など幅広い活用例があり、大津町でもこれらを参考に更に情報発信の幅を広げるべきではないか。 また、フォローや友だち登録を促すキャンペーン、クイズ企画など、運用改善策について町の見解を問う。	町 長